

研究課題名：

インフルエンザワクチン接種者検体を用いた COVID-19 抗体検査精度検証

研究の目的と方法：

2019年12月以降、中国湖北省武漢市に居住する者を中心に SARS-CoV-2 を原因とする 2019-新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の患者が報告され、最初の患者の発見からわずか5ヶ月程度の中に、世界中で300万人を超える感染者と20万人を超える死亡者が報告されており、世界的に公衆衛生上の非常に大きな問題として早急な対策が求められています。本感染症の流行を制御するには COVID-19 により誘導される免疫の評価が不可欠で、COVID-19 抗体検査系の確立が求められています。精度の高い抗体検査系の確立のためには、COVID-19 以外の他の呼吸器ウイルス感染症に対する抗体応答が COVID-19 抗体検査系に影響しないことを確認することが必要不可欠です。

本研究では、平成22年(2010年)から平成29年(2017年)に国立感染症研究所感染病理部を主たる研究機関として実施された「不活化インフルエンザワクチンの経鼻投与によるヒトの粘膜免疫応答の解析」研究に参加された方から提供していただいた血液と鼻腔洗浄液検体を用いて、代表的な呼吸器ウイルスであるインフルエンザウイルスに対する抗体が COVID-19 抗体検査系に与える影響を検討し、COVID-19 抗体検査系の精度検証を行います。

研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、感染研感染病理部では個人情報厳重に保管されており、発表の際には、名前など個人が特定できるような情報は削除され、公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

平成22年(2010年)から平成29年(2017年)に実施された「不活化インフルエンザワクチンの経鼻投与によるヒトの粘膜免疫応答の解析」研究に参加された被験者の皆様。

研究に利用する試料・情報：

上述の期間に実施された研究に参加頂いた被験者の方から得られた血液、鼻腔洗浄液の残余検体、ならびに被験者の方の年齢、性別、接種ワクチン、過去のワクチン履歴、過去のインフルエンザ発症履歴等の情報。

研究組織：

国立感染症研究所 感染病理部、免疫部、ウイルス1部

試料・情報の管理について責任を有する者：

国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター・センター長 長谷川秀樹
感染病理部・部長 鈴木忠樹

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所 感染病理部
部長 鈴木忠樹 (研究責任者)
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189 E-mail tksuzuki [@] nih.go.jp

- * 研究対象者として該当する方、もしくは、その代理人の方が、本研究での試料・情報の利用を希望されない場合は、上記「お問い合わせ先」までご連絡ください。直ちに試料・情報の研究への利用を中止いたします。